

オーストラリア（豪州）リスク回避の動きが和らげば豪ドル底打ちも

- 新型肺炎への懸念を背景に豪ドルが対円で下落
- 景気減速懸念から豪中銀の利下げ観測は高まる
- 対米金利差から判断すれば売られ過ぎとの見方も

■ リスク回避の動きが強まり豪ドルに下落圧力

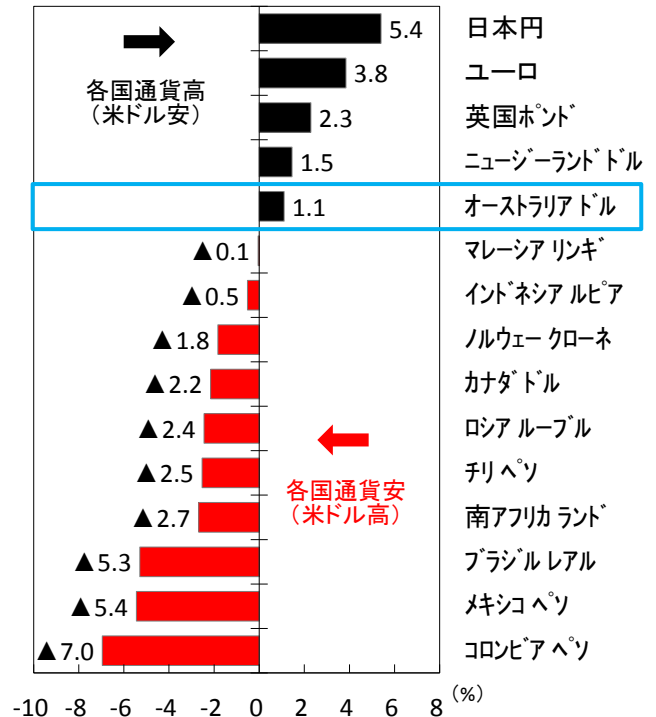
新型肺炎の感染拡大懸念を背景に金融市場でリスク回避姿勢が強まり、資源国通貨である豪ドルが売られ易くなっています。2月末からの騰落率をみると対円では▲4.1%、対米ドルでは+1.1%となっており（図1）、円高が進むなかで対円での下落が顕著となっています。新型肺炎の影響による世界的な景気鈍化懸念に対し、各国中銀は金融緩和姿勢を強化しており、豪中銀は3月の利下げ（0.75%→0.50%）に続き、4月も連続利下げが見込まれています。豪州経済は減速感が強まっており、金融緩和期待と世界経済の減速懸念から、当面豪ドルの上値は重いとみています。

■ 現在の豪ドルの水準は売られ過ぎの領域に

豪ドルは中国や世界経済のリスク要因に過敏に反応するため（図2）、現状は売られ過ぎの領域にあるとみています。金利差から判断すると底固めの兆しがあり（図3）、新型肺炎の問題が収束し世界経済見通しが改善すれば、底打ちが期待できるとみます。特に対円ではリスク回避の動きが和らげば持ち直す可能性は高いとみています。（向吉）

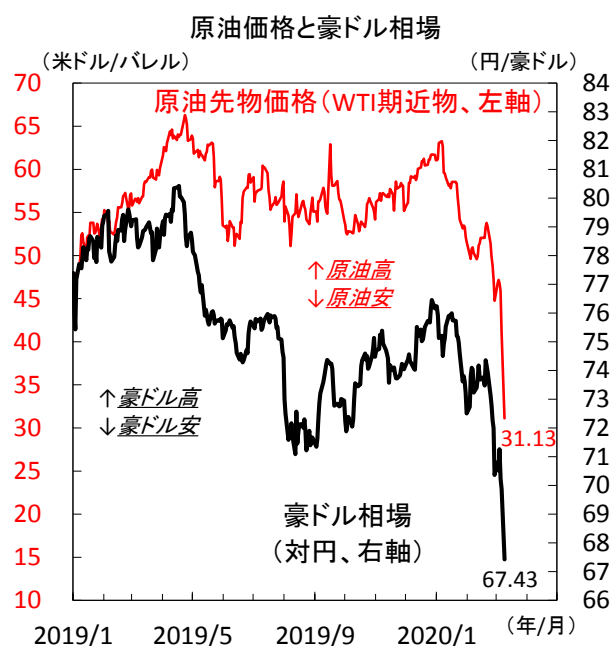
【図1】 リスク回避の動きから為替市場で円急伸

2020年3月 主要通貨の対米ドル騰落率
（2月28日～3月9日）



出所） Bloombergより当社経済調査室作成

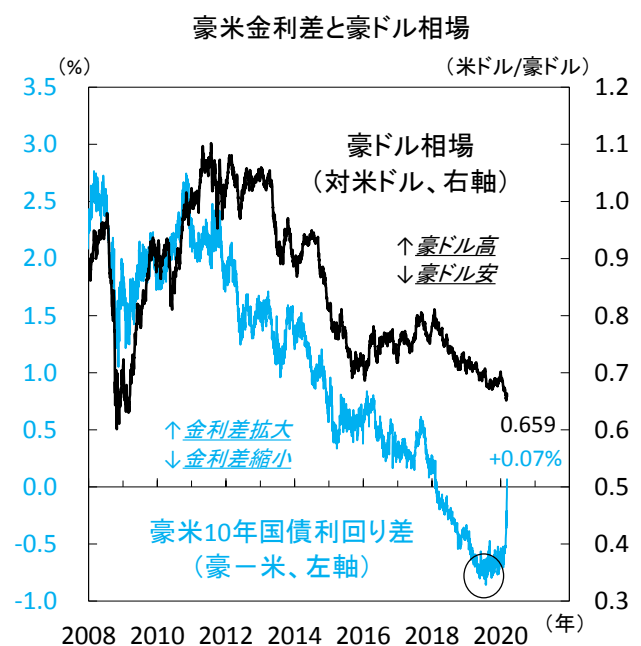
【図2】 原油価格急落が豪ドル軟化の要因



注）直近値は2020年3月9日時点。

出所） Bloombergより当社経済調査室作成

【図3】 金利差から判断すれば豪ドルは底固めの可能性も



注）直近値は2020年3月9日時点。

出所） Bloombergより当社経済調査室作成

本資料に関してご留意頂きたい事項

- 本資料は、投資環境等に関する情報提供のために三菱UFJ国際投信が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。販売会社が投資勧誘に使用することを想定して作成したものではありません。
- 本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。
- 各ページのグラフ・データ等は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。
- 本資料に示す意見等は、特に断りのない限り本資料作成日現在の三菱UFJ国際投信戦略運用部経済調査室の見解です。また、三菱UFJ国際投信が設定・運用する各ファンドにおける投資判断がこれらの見解に基づくものとは限りません。



三菱UFJ国際投信

三菱UFJ国際投信株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会